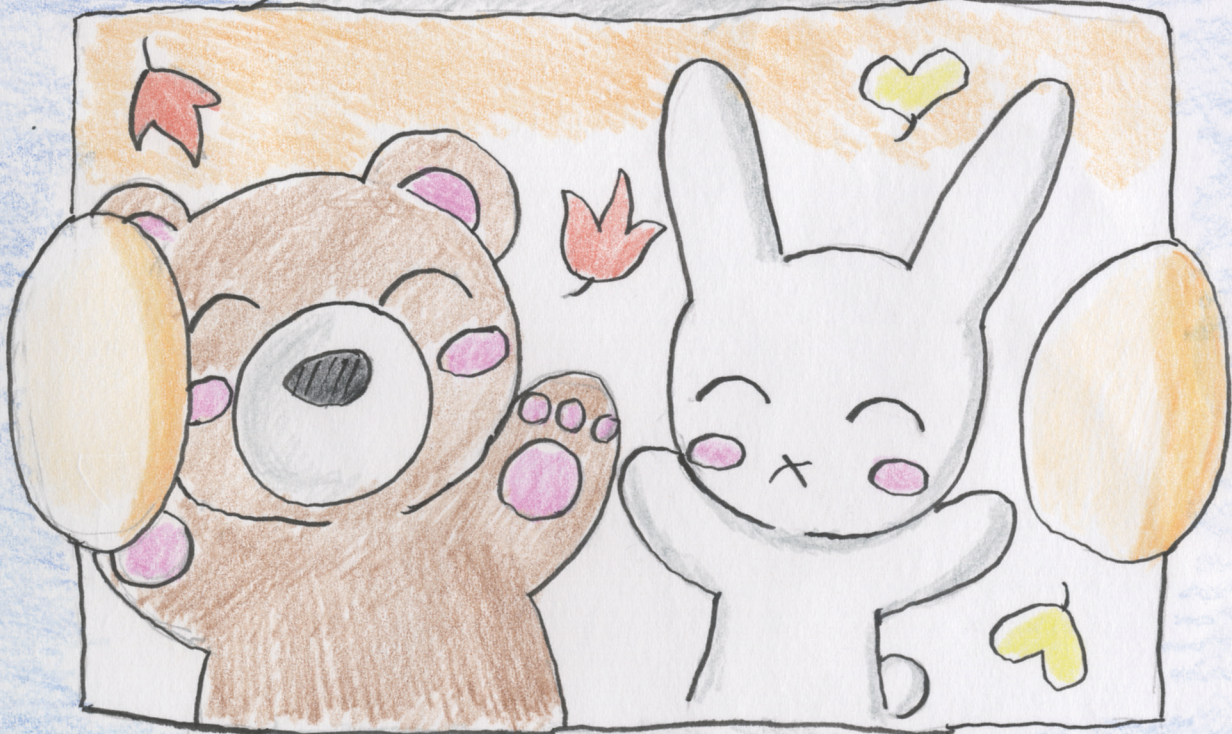


いたばし

No. 83

ハートワークだよ



「私の好きなこと」
| 小山 誠矢

2013年4月に㈱電通の特例子会社として設立。障がいのある社員5名が入社し清掃業務からスタートしました。現在サービススタッフは68名。障がいの内訳は知的57名(重複含む)、発達障害10名、視覚障害1名、平均年齢は25歳です。契約社員で入社し、1年後に一定の条件をみたすと正社員登用試験を受けることができ、合格すると正社員(無期雇用)になれるとのこと。

これまで当たり前だった毎日のルーチンワークが、コロナの影響により変化せざるをえない状況となりました。今回、㈱電通そらりさんに訪問させていただき、「ウィズコロナの働き方」としてお話をお聞かせいただきました。

白石さんは2017年に正社員登用となり、現在はクリーンサービス班として働いています。共用フロア清掃や窓ガラス清掃、ゴミ回収など多岐にわたります。

来訪者が行き来する場での業務の為、周囲に気を配りながら仕事をしています。白石さんは「常に仕事の質を下げないように意識しています。自分の仕事にはほこりをもって取り組むよう心掛けています」とお話しくださいました。

Q1. 隔日勤務になり、どのようにモチベーションや日常生活を維持していますか？

A1. 「在宅勤務日も会社で働いている感覚を忘れないように常に仕事に対するスイッチをオンにして行動しました。また、一人暮らしをしているので自分が作った料理を写真に撮ったり、新たな料理にチャレンジすることでモチベーションを維持しました。」



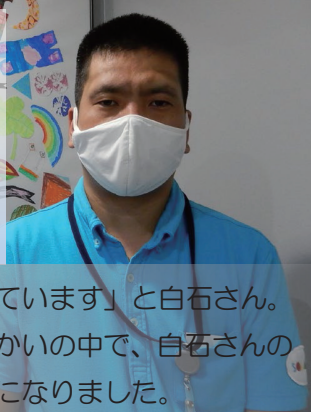
最近はお弁当も作っているのを見せてくださいました。

Q2. 「新しい生活様式」となり特に心がけていることがあれば教えてください。

A2. 「就寝、起床時間などライフスタイルを崩さず、運動や家事をする。逆境をチャンスととらえ何事にもチャレンジする。今を楽しむことです。」

Q3. 難しかったこと、大変だったことをどのように乗り越えましたか？

A3. 困ったことがあったら親やメンターに伝えて協力を求めたり、不安があったときは話をするなどして解決しました。



「働き続けることを目標にしています」と白石さん。先がみえないコロナとのたたかいの中で、白石さんの前向きな考え方はとても参考になりました。

緊急事態宣言 解除後のお話

6月から勤務再開となり、当初希望者はフェイスガードをつけて仕事をしていたそうです。また、感染予防としてプラスチックグローブの装着を取り入れたとのこと。サビスタのみなさんがあやまって感染しないように、手袋の正しい捨て方のレクチャーを行うなど安全に配慮して仕事ができる環境を整えられたそうです。いまではグローブの取り外しもスムーズに行っているとのこと。



メンター:高田さん

背景の千羽鶴はコロナ終息祈願として

サビスタ全員で心を込めて折られたものです

高田さんに、白石さんの職場での様子を伺いました。

「何事も意欲的に取り組んでおり、質問や確認をしながら進めてくれるので、安心してお仕事を任せせています。入社5年目の先輩として、今は、実習対応や新人対応なども積極的に頑張ってくれています。」

今後、白石さんに期待することは？

「今後は自分のお仕事をこなすだけでなく、周りに目を配れる白石さんだからこそ、プラスαの業務もお願いしようと考えております。白石さんの更なる成長を期待しています。」

サビスタ/サービススタッフの略、メンター/サビスタをサポートする社員

クリーンサービス班のほか、全部で4つのチームで構成されています

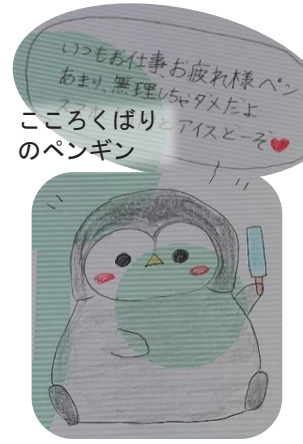


農園サービス班が収穫した野菜はラベル貼りや袋詰め、外販まで行います。袋詰めをした野菜は港区役所や世田谷区役所で購入できるそうです。

テーマは「好きなこと」です ハート・ワーク写真展



R.Fさん 20歳 事務
これはショルダーキーボードというYAMAHAの楽器です。日頃、アニメソングやボーカロイドを練習しています。弾くとテンション Max になります。楽器店では販売されていなかったの、通販で買いました。



野坂瞳さん 22歳 カフェ
「こころくぱりのペンギン」のスタンプがお気に入りです。母とのやり取りでこれを使うことが多いです。かわいくて癒しになります。毎日見ても飽きないです。写真は色鉛筆で書いたイラスト。母へのメモに書き添えてみました。



YouTubeをしています

植村廣隆さん 39歳 スーパーマーケット
仕事から帰った後や休みの日に、気が向くとギターを弾きます。音楽を作ることが好きで、作詞作曲やアレンジをしています。大変ですが曲が完成すると喜びがあります。



秋湯大滝

千田勉さん 34歳 清掃
初めての一人旅で仙台に行きました。東京駅周辺で迷いましたが、無事に「東北新幹線やまびこ」に乗りました。仙台駅からバスに乗り換えホテルに到着。早速、温泉に入りました。翌日はタクシーで「秋湯大滝」へ行きました。「滝に打たれたい」と思いながら眺めました。ホテルに戻る道中も自然が豊かでした。蕎麦畑がたくさんあり、ここで蕎麦を食べたくなりました。帰りの仙台駅で、名物の牛タンを堪能。「幸せ、また来たい」と思いました。



好きなところは？
個性があり、47ヶ所です。(7割は21区を指していると聞いています)

黒岩利幸さん 31歳 食品工場
アニメと乗り物が好きです。写真はラライブサンシャインのラッピングバスです。聖地へ行く時は、東京一沼津間を走るこのバスに乗ります。沼津の商店街では、ラライブサンシャインを応援しています。限定品の缶バッジやスタンプがあります。天気が良ければ富士山も見えます。ラライブサンシャインのCDを聞くとリラックスします。疲れている時や元気を出したい時に聞いています。



くるみちゃん

伊藤幸喜さん 22歳 清掃
くるみちゃん(ヒョウ柄メガネ)の写真です。家にはもう1匹、なつ君もいます。洋服を着るのが嫌いなコたちですが、ハロウィンの衣装を探しに100均へ行った時に見つけたメガネです。出勤の時に見送ってくれるかわいい2匹です。



少し肩が下がったけど、いい当たり

柴田隆至さん 41歳 清掃
「バウプロ板橋」でソフトボールをしています。仲間が増え新しいユニホームを作り張り切っていましたが、コロナで練習が休みに……。でも14年続けたギターやカフェめぐりを楽しんでいます。休日にリフレッシュすることで仕事もがんばれます。



完走するとメダルがもらえます



戸田彩湖 マラソン
伴走者の岡さんと走りました

池内正雄さん 36歳 清掃
フルマラソンやウルトラマラソン(100km以上)に参加しています。GHの元世話人の大木さんと伴走してくれる仲間の協力で、休日や夜間に練習をしています。走るのはキツイけど、がんばって結果が出るとうれしい。「よかった！」と思います。

せつめいかい ハート・ワークの説明会を行いました！

8月21日(金)板橋特別支援学校の就労希望をしている3年生20名と、その保護者の方20名にむけ、ハート・ワーク オリエンテーションを開催いたしました！

参加していただいた生徒たちは緊張した様子でしたが、ハート・ワークが支援させていただく内容や、余暇活動の説明に、しっかり耳を傾けてくださいました。また「自立について」というテーマでの話し合いでは、頭を抱えながら、時折保護者の方と相談しながら、生徒は「積極的に行動する」、保護者は「先を見越して行動」などの意見をだしていただき、自立するためにはどうしたらいいかを一生懸命に考えていらっしゃいました。

～当日の流れ～



新しい職員を ご紹介いたします！

皆さんに気持ちよく就労していただけるよう、ハート・ワークの一員として努力してまいります。よろしくお願いたします。



神尾 錦子

ハート・ワークの職員として、皆さんが豊かなワークライフを送れるよう支援させていただきます。よろしくお願いたします。



齋藤 暁

じっしゅうせいほしゅう 実習生募集！

ハート・ワークでは、下記の事業所で実習生を受け入れています。就労への一步、再就職への一步を踏み出そうとしている方はハート・ワークまでご相談下さい。

- ・カフェこすもす (エコポリスセンター内)
- ・スマイルマーケット (高島平駅ナカ売店)
- ・東京都板橋福祉工場

写真は、カフェこすもす。店内でクッキーを作っています！



最低賃金

東京都 1,013円 埼玉県 928円

板橋区障がい者就労支援センター (ハート・ワーク)

〒174-0063 板橋区前野町 4-16-1 板橋区立おとしより保健福祉センター内
TEL 03-3968-9900 FAX 03-3968-9966

HP: <https://www.jcws.or.jp/heart-work/>

発行◆板橋区障がい者就労支援センター 第83号 令和2年11月15日

